

1 教科について

国語

昨年度の課題

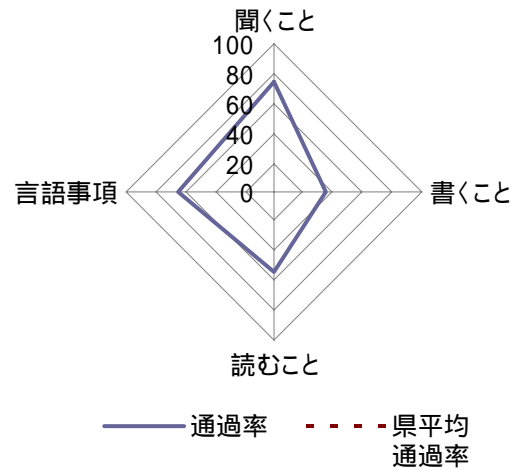
説明的文章において、文章をしっかり読み取っておらず、展開や要旨を正確につかめていない。
 文学的文章において、登場人物の心情を文章中の手がかりをいかして読み取ることができていない。

昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

発問を精選し、じっくりと考えさせたいポイントを絞り込む。
 生徒会活動と国語科が連携し、読書活動の活性化をはかる。
 全教職員で意志統一して、授業規律を守らせる取組みを組織的におこなう。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 56.7% 県平均 75.0%

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの生徒割合(国語)



重点課題 : 「基礎・基本」定着状況調査
 : 全国学力・学習状況調査

- ・・・文章の展開に即して、登場人物の心情を的確に読み取れていない。
- ・・・文章の構成や論理の展開を正確にとらえられていない。
- ・・・話を聞いて必要な情報を聞き分け、質問に答えられない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

すべての授業がきちんと成立するように、授業規律の徹底に全教職員が意志統一して取り組む。
 家庭学習を習慣化させる取組みを強化し、基礎学力の向上をめざす。
 無答率が低下するように、個々に対する取組みを強化し、学習意欲を向上させる。

来年度の目標値

県平均との差を10ポイント以内にする。
 無答率を10%以内にする。

指導方法等の改善計画について

数 学

昨年度の課題

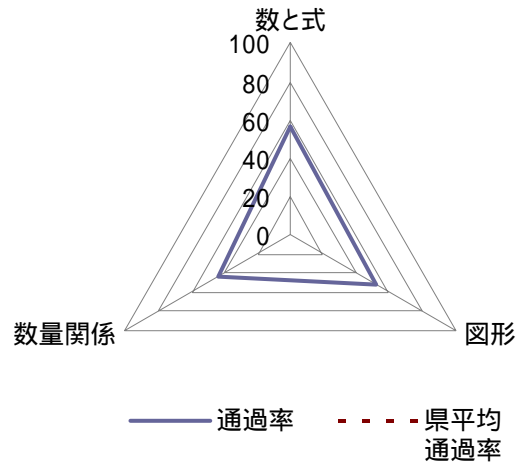
数と式の領域の中で、文字式を読むことが弱い。
 数量関係における反比例の表の作成と反比例の意味の理解が弱い。
 図形領域の中で、垂線の作図が弱い。

昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

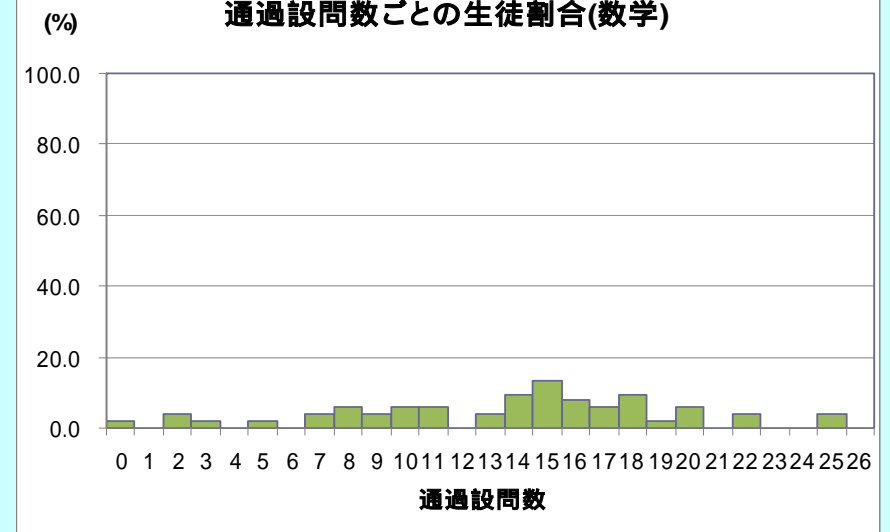
文字を使って数量関係を表すこと、具体的な身の回りの事象を考えさせたり、説明させたりする。
 反比例の表の作成や反比例の意味を理解させる。
 垂線の作図が全員できるよう繰り返し学習する。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 52.5% 県平均 69.7%

領域別平均通過率(数学)



通過設問数ごとの生徒割合(数学)



重点課題 : 「基礎・基本」定着状況調査
 : 全国学力・学習状況調査

- ・・・数と式の基本的な計算(分数、累乗、文字式など)が全般的に低い。
- ・・・文章を読み取りたり式に表したりすることを苦手としている。
- ・・・図形の基本知識が身に付いていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

基本的な計算を授業初めのドリルで復習し、定期テストで確認する。
 簡単な文章問題を繰り返し学習することでパターン化して解ける喜びを味わうことができるようにする。
 簡単な見取り図をかくことを通して線分や面の位置関係の理解を深める。

来年度の目標値

県平均との差を10ポイント以内にする。
 無答率18.2%を10%以内にする。

指導方法等の改善計画について

英語

昨年度の課題

「書くこと」の領域に於いて、場面に応じて適切な英文を正しい語順で書く力が弱い。

「読むこと」の領域において、文法を理解した上で、会話文を組み立てる力が弱い。

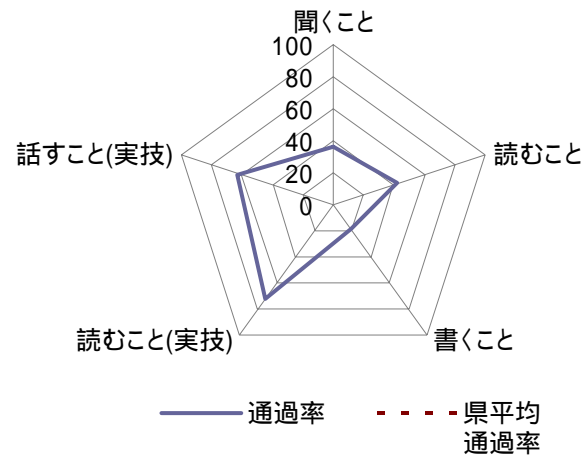
昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

毎時間、単語テストか基本文を書くテストをおこない、書くことの定着を図る。指導の際は、語順の指導に力を入れておこなう。

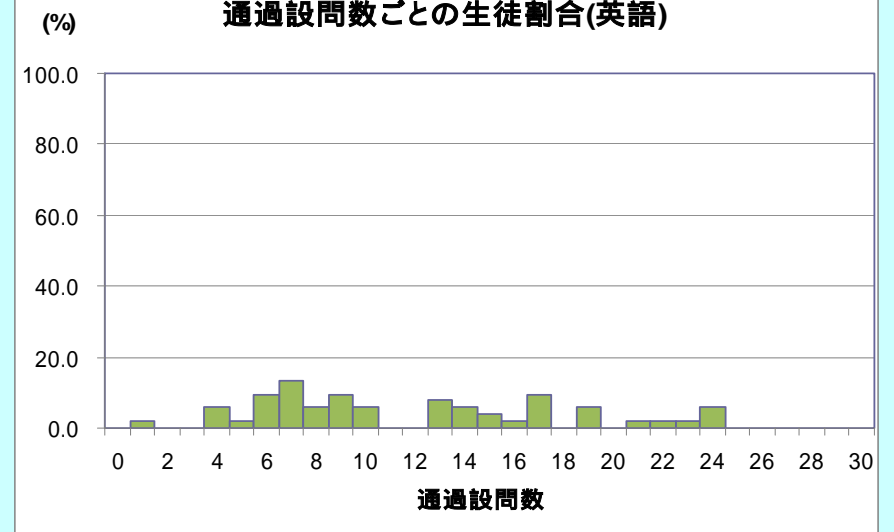
2文ダイアログから始め、既習文を組み合わせることで、まとまりのある会話を作る活動を各単元のゴールに設定し、指導していく。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 39.5% 県平均 65.2%

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



重点課題 : 「基礎・基本」定着状況調査
: 全国学力・学習状況調査

- ・・・「書くこと」の領域において、疑問詞を用いた文を書く力が弱く、また自分のことについて内容を考えて書く力が弱い。
- ・・・「読むこと」の領域において、会話の流れを理解し、的確に読み取る力が弱い。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

新しい文法事項を理解させ、それを使って、自己表現できるように指導していく。

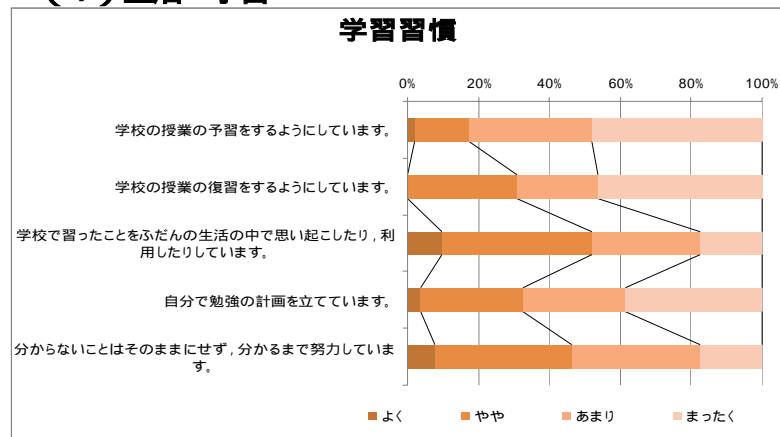
日々の単語テストや文テストで語彙力をつけ、会話文に慣れさせていく。

来年度の目標値

県平均との差を15ポイント以内にする。
無回答率を5%以内にする。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：学校質問紙，生徒質問紙)

(1) 生活・学習



改善したい点 (「基礎・基本」, 「全国」)	今後の具体的な取組みの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・・・1日4時間以上テレビやゲームをしている生徒が42.3%いる。(県 19.2%) ・・・1日の家庭学習の時間が30分以下の生徒が約50%いる。(県 約30%) ・・・家で苦手な教科の勉強を全くしていない生徒が42%いる。(全国 23%) 	<p>学級担任による家庭生活(特に、家庭学習)の指導、ならびに保護者への啓発。 全校で「家庭学習」の基本形を作り、材料の提供や学習方法の指導をおこなう。</p>

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の家庭学習が30分以下の生徒の割合を10%未満にする。 ・
---------	---

(2) 教科

国語の授業では、中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。

数学の授業はよく分かります。

英語の授業では、分からない単語や熟語は辞書を使って調べています。

	生徒の回答と学校の指導についての課題 (「基礎・基本」, 「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・・・中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いている生徒が40%。(県 53%) ・・・読書が嫌いだと答えた生徒が25%。(全国 13%) 	<p>生徒に文章を書かせる時に、分量だけを評価の中心にせず、構成を考えて書かせる指導をおこなう。 図書室の整備を進め、魅力ある図書室にする。</p>
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・・・数学の授業はよく分かりますと答えている生徒が38.5%(県68.1%) ・・・数学の授業内容はよく分かりますと答えている生徒が50%(全国64%) 	<p>習熟度に応じた学習をきめ細かに行う。 繰り返し学習を通して、分かる喜びを味わうことができるようにする。 特に、基礎コースについては復習の時間を十分にもうける。</p>
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・・・分からない単語や熟語は辞書を使って調べている生徒が28.8%(県 49.3%) 	<p>辞書や教科書を活用して、分からない語句の調べ方を丁寧に指導していく。</p>

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい授業の創造(生徒アンケート肯定的評価80%以上)
---------	---

指導改善のための実施スケジュール

	～ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
	Plan		Do			Check	検証	Action	Check	
	結果の分析・H20の改善計画の見直し H21の改善計画の実施						次年度の計画			
【教科】										
国語									授業規律 家庭学習 学習意欲	
数学									ドリル学習 繰り返し学習 図形の基礎知識	
英語									文法事項の理解 と自己表現 語彙力の強化	
【生活・学習】									家庭生活の指導 家庭学習の支援	